

俺の現場！

野外活動センター

皆さんの現場でのこだわりや、プライドを持って働く姿をご紹介しますこのコーナー。
今号では、「岩手県立野外活動センター災害復旧工事」の現場からお届けします！

芯が強く
皆に愛される
K.Mさん！

野外活動センター
職長

K.Mさん

岩手県立野外活動センター災害復旧工事

工期 2020年2月～2021年3月

場所 岩手県陸前高田市広田町

人数 約30名（常駐4名）

「芯が強く皆に愛される！」との 由縁はざばり何でしょうか？

「怪我のないように家に帰ってほしい」という思いを常に持ち、その意識が指示にも反映されているため、芯が強いと言われるのだと思います。また、約25名の研修生一人ひとりとのコミュニケーションを大事にしており、「怪我のないようにね」と積極的に声かけをしているところから「皆さんから愛される」と言われるのかもしれません。



大船渡湾を一望できる高台

この工事は、宿泊棟、管理棟、体育館の三つの建物を建て、テニスコートやキャンプ場、陸上のトラックも併設する大規模なものです。シャワーやトイレ用の建物の建設まで含めると、最終的には計8箇所ほどの機能を持ったセンターになります。この場所は、以前は広田水産高校のグラウンドがあり、震災直後は仮設住宅が建てられていた場所でした。仮設住宅がなくなった跡地ということもあり、周囲には大船渡湾を遮るものがなく、現場から大船渡湾を見下ろすと雄大な景色が見えます。



少人数の現場ならではの苦労

常駐しているのがたったの4人と少人数での作業だったため、下請けの会社にも電話をかけて応援を要請しないと工期に間に合わなくなったことです。初めに鉄筋を建ててから工事を始める「壁構造」で建てる案件だったため、とにかく人数が必要になり、急遽応援要請をし、なんとか工期には間に合いました。また、建て込みをしているときに、図面や工期が変更になるトラブルが

何度かあったことも大変でした。変更に対応するにはパソコンを使った作業も必要になったため、現場監督にパソコンの使い方を教わり、不慣れながらも頑張りました……(笑)



一人でも多くの人に……

私が携わった建物を一人でも多くの人に使っていただきたいという思いは、人一倍強いと思います。なぜなら、これまで震災後の復興に関わる建物を建てるが多かったからです。福島第一原発、陸前高田の県立病院、大船渡の市場、釜石の防災センターなどの建設に携わってきたため、今度は災害に遭わず、一人でも多くの人に使ってほしいと願っています。

Mさんの意気込み

働けるうちは働きたいので、家族に減塩管理をしてもらいながら、健康を維持して、長く仕事を頑張りたいと思っています！

TK plus

vol.2

2020年11月25日発行



今回は、強面だけど面倒見がいい Kちゃん

K.Sさんの現場「腹帯床板」の様子をお届けします！お楽しみに！